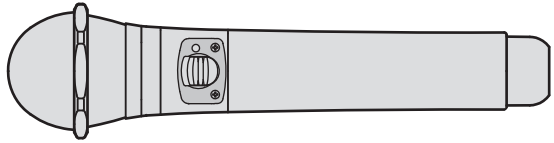


AT-CLM7000TX AT-CLM7000TSX AT-CLM7700TX AT-CLM7700TSX

取扱説明書 / 赤外線コードレスマイクロホン

audio-technica

ご購入ありがとうございます。
ご使用前にクイックスタートガイドを必ずお読みのうえ、必要に応じてこの取扱説明書を参照して正しくご使用ください。



- 軽量、コンパクトなショートタイプマイクロホン
- 使用する部屋の大きさにあわせて赤外線出力を 3 段階 (ECO/LO/HI) に切り換えられる省電力タイプ
- カラオケ業務に最適な最大 10 時間 (ECO 時) 連続使用可能
- 同じ部屋で 4 本まで使えるチャンネルを用意
- 高音質ダイナミックマイクユニットを搭載
- スピーディにマイクユニット ASSY、グリップ LOW-ASSY の交換可能
- 1 本のマイクロホンで 2 つのチャンネルが選択可能*
- * 電源インジケーターの色で判別可能。また、薄型の識別リングを付属

* 本製品を運用するには別売の当社赤外線コードレスレシーバー、当社充電器との組み合わせが必要です。
対応する製品については当社のホームページをご覧ください。

安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

- 危険** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
- 警告** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
- 注意** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

- 警告**
 - 本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない
感電、故障や火災の原因になります。
 - 同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない
事故や火災の原因になります。
 - 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づいたら使用しない
異常に気づいたら、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - 分解や改造はしない
感電、故障や火災の原因になります。
 - 強い衝撃を与えない
感電、故障や火災の原因になります。
 - 濡れた手で触れない
感電やけがの原因になります。
 - 水をかけない
感電、故障や火災の原因になります。
 - 布などで覆わない
過熱による火災やけがの原因になります。

- 注意**
 - 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
故障、不具合の原因になります。
 - 火気に近づけない
変形、故障の原因になります。
 - ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない
変形、故障の原因になります。

電池について

指定電池	専用ニッケル水素電池 または 単3形アルカリ乾電池
------	---------------------------

危険

- 電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。
万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
- 皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。
- 電池の液が目に入ったときは目をこすらない
すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。

警告

- 火の中に入れてない、加熱、分解、改造しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない
発熱、破損、発火の原因になります。
- 幼児の手の届く所に置かない
電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師の診察を受けてください。窒息や内臓への障害の恐れがあります。
- 電池は (+) (-) を逆に入れない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 長期間使用しない場合は電池を取り出す
液漏れによる故障の原因になります。
- 硬質やカギなど金属製のものと一緒に場所に置いたり、電池の (+) と (-) を接続しない
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 新しい電池と一度使用した電池、銘柄や種類の違う電池を混ぜて使用しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 乾電池は充電しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 使い切った電池はすぐに取り出す
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

注意

- 落下させたり強い衝撃を与えない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 以下の場所で使用、放置、保管しない
直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
・ 炎天下の車内
・ ストープなどの熱源の近く
液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
- 水に濡らさない
発熱、破裂、発火の原因になります。
- 外装ラベルが割れた電池は使用しない、ラベルを剥がさない
ショート状態になりやすく、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 変形させたりハンダ付けしない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 保管、廃棄の場合は端子 (金属部分) をテープなどで絶縁する
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 機器を使用したあとは必ずスイッチを切る
液漏れの多くは、スイッチの切り忘れによる電池の消耗が原因です。
- 指定の電池以外使用しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する
環境保全に配慮してください。

使用上の注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 赤外光発光部は手で覆わないでください。
- 赤外光発光部を強く握ったり、ひねらないでください。故障の原因となります。
- 赤外光の到達距離は壁や天井、床などの色や材質によっても変化します。
- 到達距離とは無関係にノイズが発生することがあります。その際は、受光ユニットを適切な位置に取り付け直してください。
- 市販の単3形アルカリ乾電池を使用した場合、電池残量表示は正しく表示されません。
- 出荷時の充電式電池は充電されていません。
- 初めて充電するときや長時間使用していないときは、充電式電池の持続時間が短くなる場合があります。その際は、何回か充放電を繰り返すと通常の充電ができるようになります。
- 長期間使用しないときでも、充電式電池を保護するため、半年に1度は充電を行うようにしてください。放置しすぎると充電式電池の持続時間が短くなったり、充電しなくなる恐れがあります。
- 充電式電池を使い切らないうちに充電を繰り返すと、充電状態とは無関係に電池が消耗するメモリー効果と呼ばれる現象が起きます。電源インジケーターが消えるまで使い切ってから充電してください。それでも改善されない場合は、充電式電池の寿命の可能性がります。新しい充電式電池と交換してください。
- 充電式電池は充電を繰り返すと、電池の容量が減少してきます。使用時間が短くなってきたら、なるべく早く新しい電池と交換されることをおすすめします。
- 充電式電池にまれに白い粉のようなものが付着することがありますが、故障ではありません。乾いた布などでよく拭き取ってから再度ご使用ください。

各部の名称と機能

グリップを外した状態

- ① ヘッドケース
- ② ヘッドケース止めネジ
- ③ リングメイハン
AT-CLM7000TX / AT-CLM7000TSX : 黒
AT-CLM7700TX / AT-CLM7700TSX : シルバー
- ④ 電源インジケーター
電源を入れると電池の残量を表示します。
点灯 : 使用可能です。
点滅 / 無点灯: 充電してください。

- * 表示色
AT-CLM7000TX / AT-CLM7000TSX : 黄 (Aチャンネル使用時)
AT-CLM7000TX / AT-CLM7000TSX : 緑 (Bチャンネル使用時)
AT-CLM7700TX / AT-CLM7700TSX : 赤 (Aチャンネル使用時)
AT-CLM7700TX / AT-CLM7700TSX : 青 (Bチャンネル使用時)
- * 電源インジケーターの表示は目安です。
- * 電源インジケーターが点滅表示ですと受信範囲が狭くなり、ノイズの混入や途切れが発生する場合があります。

- ⑤ 電源スイッチ
上方向にスライドさせると電源が入ります。
- ⑥ グリップ
- ⑦ 赤外光発光部
- ⑧ 充電端子部
- ⑨ 出力切換スイッチ
赤外光の出力設定を切り換えます。
- ⑩ チャンネル (ch) 切換スイッチ
チャンネル (搬送波周波数) を切り換えます。

電池の正しい入れかた

本製品は緊急の場合、市販の単3形アルカリ乾電池2個でも使用できます。その場合、電池残量表示は正しく表示されません。また、アルカリ乾電池は絶対に充電しないでください。

- 1 電源をオフにします。

- 2 グリップを反時計方向に回し、外します。

- 3 ヘッドケースを下に向け、電池を⊖側から先に入れます。

専用ニッケル水素電池の場合 * 単3形アルカリ乾電池の場合
* 1本ずつ入れます。

- 4 グリップを本体にはめ込み、時計方向に止まるまで回します。

- 5 電源スイッチをオンにし、電源インジケーターが点灯すれば正常です。

* 電源インジケーターが点滅または無点灯のときは電池が消耗しています。

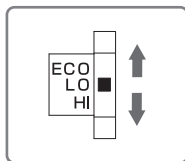
使いかた

※別売の当社赤外線コードレスレシーバーの取扱説明書も併せてお読みください。
※ご使用前に、チャンネルを設定しCH識別リングを取り付けてください。

- ①本製品を充電します。
- ②レシーバーの出力切換（マイク⇄ライン）を確認します。
- ③レシーバーの電源を入れます。
*電源を入れてから約1秒間は音が出ません。
- ④本製品の電源を入れます。
- ⑤音が出ることを確認し、お持ちの機器またはレシーバーで音量を調整します。

■出力設定の切り換えかた

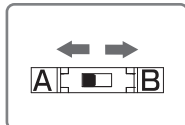
送信範囲の調整をする場合、出力切換スイッチをスライドさせて設定を切り換えます。



- *ECO：出力小、LO：標準、HI：出力大
- *出力を切り換えると、連続使用時間も変わります。
- *工場出荷時は、「LO」に設定されています。

■チャンネルの切り換えかた

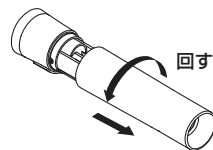
電源をオフにしてから、チャンネル切換スイッチをスライドさせてチャンネルを切り換えます。



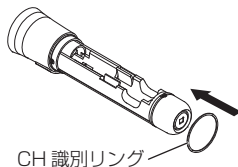
- *電源がオンの状態でチャンネルを切り換えると雑音の原因となります。
- *工場出荷時は、「Aチャンネル」に設定されています。

■CH識別リングの取り付けかた

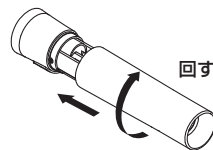
- 1 グリップを反時計方向に回し、外します。



- 2 設定するチャンネルに合わせて、CH識別リングを取り付けます。



- 3 グリップを本体にはめ込み、時計方向に止まるまで回します。



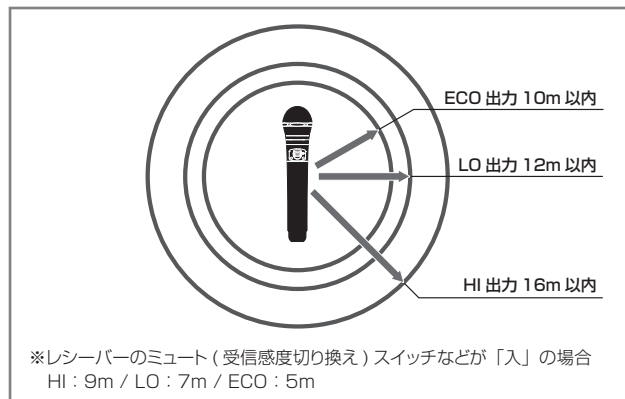
送信周波数

本製品のチャンネルは下表に対応しています。

マイクロホン	チャンネル	周波数	レシーバー対応チャンネル*
AT-CLM7000TX / TSX	A	2.06MHz	1ch
AT-CLM7000TX / TSX	B	2.56MHz	2ch
AT-CLM7700TX / TSX	A	3.20MHz	3ch
AT-CLM7700TX / TSX	B	3.70MHz	4ch

*AT-CR7000またはAT-CR9000の場合

送信範囲



※レシーバーのミュート（受信感度切り換え）スイッチなどが「入」の場合
HI：9m / LO：7m / ECO：5m

- *上記の送信範囲は本製品とレシーバーの間に障害物がなく、見通せる状態での目安です。
- *周囲の環境やレシーバーの設定条件などにより送信範囲は変わります。
- *本製品とレシーバーの間に障害物がある場合、上記の送信範囲以下でも雑音が出たり、音が途切れたりすることがあります。

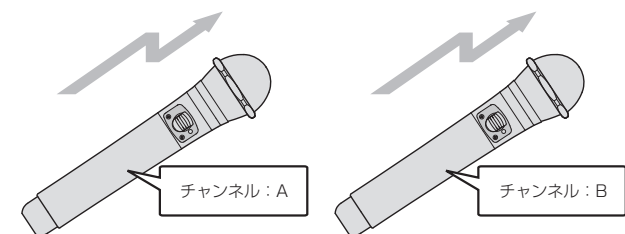
コードレスシステムについて

※別売の当社赤外線コードレスレシーバーの取扱説明書も併せてお読みください。

本製品を2本同時に使用する際は、各々のチャンネルをAとBに設定してください。

- *同じチャンネル（周波数）のコードレスシステムを2台同時に使用できません。
- *本製品と受光ユニットは1.5m以上離してご使用ください。誤動作や雑音が発生する恐れがあります。
- *周辺にテレビやデジタル機器がある場合は離してご使用ください。電波の干渉やノイズの影響を受けることがあります。

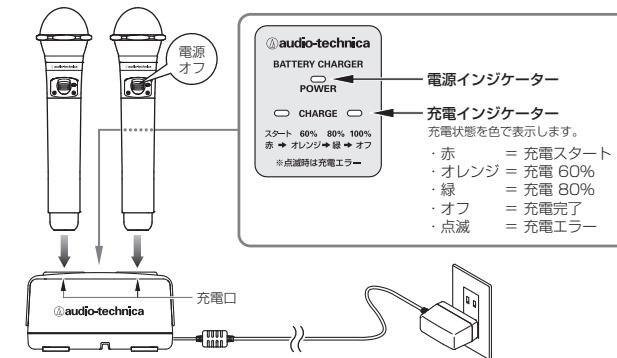
■使用例



充電のしかた

※別売の当社充電器の取扱説明書も併せてお読みください。

■使用例



- ①本製品の電源をオフにしてから、充電口へ差し込みます。

- *本製品を差し込んで、充電インジケーターが点滅する場合は、エラーの可能性がります。一度充電器の電源を切ってからご使用ください。
- *本製品の電源がオンの状態で充電口に差し込むと、自動的に本製品の電源がオフになり、充電が開始されます。（オートオフ機能）

- ②充電中は充電インジケーターが充電状態に合わせて点灯します。（赤→オレンジ→緑）

- ③充電インジケーターが消灯すれば、充電完了です。

- *約**5.5時間**で充電完了します。
- *本製品の充電式電池の寿命は正常なご使用で約1年、または充電回数で約750回繰り返して使用できます。
- *充電状態の表示は目安です。できる限り、満充電（充電インジケーターが消灯）になってからご使用ください。
- *充電式電池の消耗が少ないときは、自動的に短時間で充電完了します。

故障かな？と思ったら

以下の項目を参考にしてください。
それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

Q. 電源が入らない
A：充電されていますか？
Q. レシーバーが受信しない
A1：本製品と受光ユニットの間に障害物がありますか？
A2：本製品と受光ユニットの距離が離れすぎていませんか？
Q. 満充電にしてもすぐに電池がなくなってしまう
A：電池がメモリー効果を起こしていませんか？ 本製品の電源スイッチをオンにして5時間以上放置した後、電源スイッチをオフにしてまた充電してください。 ※上記の操作をしても改善されない場合は、充電式電池の寿命（約750回の充電が目安です）と思われる。新しい充電式電池と交換してください。

テクニカルデータ

型式：ダイナミック型
指向特性：単一指向性
変調方式：FM周波数変調
トーン信号：35.7kHz
搬送波周波数：Aチャンネル：2.06MHz、Bチャンネル：2.56MHz（AT-CLM7000TX / AT-CLM7000TSX 使用時）
またはAチャンネル：3.20MHz、Bチャンネル：3.70MHz（AT-CLM7700TX / AT-CLM7700TSX 使用時）

赤外線波長：870 ± 30nm
電源：DC2.4 ~ 3V（専用ニッケル水素電池
または単3形アルカリ乾電池2本使用時）
連続使用時間*：専用ニッケル水素電池使用時 約10時間（ECO時）
約7.5時間（LO時）
約4.5時間（HI時）
約8時間（ECO時）
約5.5時間（LO時）
約3時間（HI時）
または単3形アルカリ乾電池使用時

動作温度範囲：5 ~ 40℃
外形寸法：Φ56×223mm（ヘッド径×全長）
質量：約275g（専用ニッケル水素電池含む）
付属品：専用ニッケル水素電池RB3UTG(1900mAh)（本製品に実装済み）
または単3形アルカリ乾電池2本
CH識別リング AT-CLM7000TX / AT-CLM7000TSX：黄、緑
AT-CLM7700TX / AT-CLM7700TSX：赤、青

*使用条件により異なります
改良などのため予告なく変更することがあります。